

西和医療センターの移転・再整備に関する西和七町への説明会

次 第

日時：令和5年12月1日（金）16:00～17:00

場所：奈良県庁 本庁舎（主棟）5階 第一会議室

1. 新西和医療センター移転・再整備候補地の決定について（知事）
2. 移転・再整備候補地の比較検討について（事務局）
3. 質疑応答

資料

次第

配席図

資料1 新西和医療センター移転・再整備候補地の決定について

資料2 新西和医療センター移転・再整備候補地にかかる比較検討結果

参考1 奈良県立病院機構、外部有識者のご意見

参考2 新西和医療センター移転・再整備候補地にかかる比較基準

新西和医療センターの移転・再整備の候補地を
JR法隆寺駅南側地区（斑鳩町）とします。

〔 I～IV合計 89点1位 (I～III合計 73点1位) 〕

【I. アクセス性】 (9項目×5点=45点)

32点で、1位

- ・(公共交通) JR法隆寺駅はJR王寺駅に次いで利便性が高く、駅から病院へのアクセスも良い。
- ・(自家用車) 西和7町の中心から比較的近く、周辺道路の混雑も少ないため、自家用車でのアクセスは良好。
- ・(緊急時) 緊急輸送道路から進入路を確保できる。また、救急車等の進入やドクターヘリによる患者搬送に支障がない。

【II. 敷地条件】 (6項目×5点=30点)

25点で、1位

- ・土砂災害警戒区域には該当せず、想定浸水深は3m未満。
- ・建物が配置しやすい傾斜のない整形地で、来院者駐車場等も含め十分な病院用地を確保できる。また、将来的な拡張性もある。
- ・良好な療養環境を阻害する施設はほとんどなく、医療施設整備に伴い周辺地域の活性化等も期待できる。

【III. 整備スケジュール】 (5項目×5点=25点)

16点で、2位

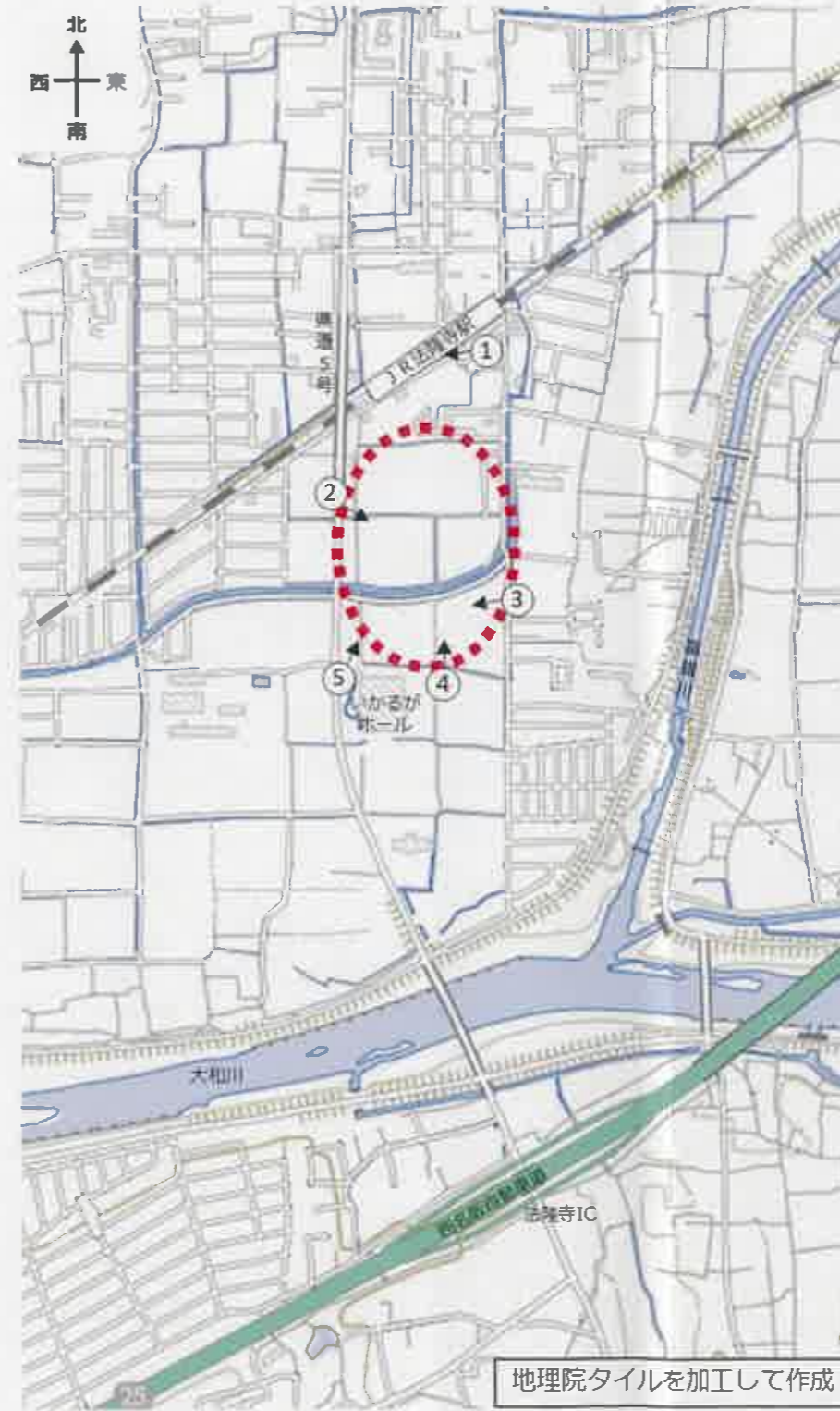
- ・現時点で用地取得への同意が見込まれ、早期の用地取得の見通しが立てられる。
- ・既存施設は農業用倉庫やビニールハウスのみで、補償交渉に要する期間が短い。
- ・盛り土は必要だが、大規模な造成工事は不要。
- ・高さ制限の緩和、市街化区域への編入は必要。農振地域の農用地区域だが、埋蔵文化財包蔵地ではない。
- ・隣接施設への工事期間中の騒音・振動等の影響が少ない。

【IV. 整備費用】 (4項目×5点=20点)

16点で、3位

- ・市街化調整区域を含み、土地単価は高額にならない。
- ・多額の移転補償費が必要となる大型物件はない(農業用倉庫やビニールハウスのみ)。
- ・十分な敷地を確保できるため、地下駐車場などの特殊な付帯工事は不要。
- ・盛り土は必要だが、大規模な造成工事ではなく、造成費は少額。また、浸水対策用のアクセス道路整備等不要。

JR法隆寺駅南側地区(斑鳩町) 付近図



新西和医療センター移転・再整備候補地にかかる比較検討結果

観点	比較項目	比較に係る着眼点	JR王寺駅南側	平群町 A地区	平群町 B地区	三郷町 A地区	三郷町 B地区	斑鳩町 JR法隆寺駅南側	河合町 A地区	河合町 B地区	河合町 C地区	
I.アクセス性+II.敷地条件+III.整備スケジュール+IV.整備費用		合計点	68	69	80	68	78	89	67	77	76	
〔I.アクセス性+II.敷地条件+III.整備スケジュール〕		合計点	59	53	63	54	61	73	53	62	60	
I.アクセス性 45点 (5点×9)	公共交通	① 鉄道路線の利便性	最寄り駅までの利便性が良い。	5	2	2	5	5	3	1	1	1
			最寄り駅の平日日中1時間当たりの電車の本数はどうか。 また、多数のバスが発着しているか。	平日日中上下14本/1h バス発着本数多い	平日日中上下6本/1h	平日日中上下6本/1h	平日日中上下14本/1h バス発着本数多い	平日日中上下14本/1h バス発着本数多い	平日日中上下8本/1h	平日日中上下4本/1h	平日日中上下4本/1h	平日日中上下4本/1h
		② 最寄り鉄道駅及び駅周辺の状況	最寄り駅の利便性が良い。	5	2	2	5	5	4	3	3	3
		駅施設はバリアフリーに対応しているか。 またバスロータリーは整備されているか。	バリアフリー対応済 多方面への大型バスロータリー整備済	バリアフリー未対応 バスロータリー未整備	バリアフリー未対応 バスロータリー未整備	バリアフリー対応済 多方面への大型バスロータリー整備済	バリアフリー対応済 多方面への大型バスロータリー整備済	バリアフリー対応済 バスロータリー整備済	バリアフリー未対応 バスロータリー未整備	バリアフリー対応済 バスロータリー未整備	バリアフリー未対応 バスロータリー未整備	
	③ 最寄り鉄道駅から病院へのアクセス	駅からの利便性が良い。	5	2	2	1	2	4	3	1	3	
		駅から病院までの距離。	駅直結	駅から徒歩5分	駅から徒歩6分	駅から徒歩12分	駅から徒歩9分	駅から徒歩4分	駅から徒歩3分 勾配あり	駅から徒歩10分	駅から徒歩3分 勾配あり	
自家用車	④ 西和7町からのアクセス	西和7町の人口重心、面積重心に近い。	5	4	4	4	4	4	4	4	2	
		西和7町の人口重心からは3km以内か。 西和7町のアreas重心からは3km以内か。 香芝市、広陵町を含めた9市町の人口重心からは3km以内か。	人口重心3km範囲内 面積重心3km範囲内 9市町人口重心3km範囲内	人口重心3km範囲内 面積重心3km範囲内 9市町人口重心3km範囲内	人口重心3km範囲内 面積重心3km範囲内 9市町人口重心3km範囲内	人口重心3km範囲内 面積重心3km範囲内 9市町人口重心3km範囲内	人口重心3km範囲内 面積重心3km範囲内 9市町人口重心3km範囲内	人口重心3km範囲内 面積重心3km範囲内 9市町人口重心3km範囲内	人口重心3km範囲内 面積重心3km範囲内 9市町人口重心3km範囲内	人口重心3km範囲内 面積重心3km範囲内 9市町人口重心3km範囲内	人口重心3km範囲外 面積重心3km範囲外 9市町人口重心3km範囲内	
	⑤ 周辺主要道路の状況	主要道路を経由して病院にスムーズにアクセスできる。	2	1	1	2	5	5	4	5	4	
		周辺主要道路の混雑状況はどうか。	混雑度1.56 (国道25号)	混雑度1.78 (国道168号)	混雑度1.78 (国道168号)	混雑度1.67 (国道25号)	混雑度0.83 (県道194号)	混雑度0.84 (県道5号)	混雑度1.22 (県道5号)	混雑度0.34 (県道36号)	混雑度1.22 (県道5号)	
	⑥ 周辺道路から病院敷地へのアクセス	主要道路から病院敷地へアクセスできる。	3	2	4	4	1	1	3	4	5	
		国道や県道から複数の進入路が確保できるか。 また、確保に工事が必要か。	町道から進入路確保可能 (玉寺1号線)	国道から進入路確保可能 (国道168号) (拡張必要)	国道から進入路確保可能 (国道168号)	国道から進入路確保可能 (国道25号)	県道から進入路確保可能 (県道195号) (道路整備必要)	県道から進入路確保可能 (県道5号) (道路整備必要)	町道から進入路確保可能 (川合上牧線)	県道から進入路確保可能 (県道36号)	県道から2ルート進入路確保可能 (県道5号、県道132号)	
緊急時	⑦ 緊急車両による周辺環境への影響	緊急車両の進入に支障がない。	1	3	4	2	1	4	2	5	3	
		進入ルートに隣接する 近隣の緊急車両の進入ルートに、住宅、店舗等が隣接しているか。	進入ルートに隣接する 集合住宅、商業施設あり	進入ルートに隣接する 住宅、店舗あり	進入ルートに隣接する 店舗等が少しあり	進入ルートに隣接する 店舗、集合住宅あり	進入ルートに隣接する 住宅街あり	進入ルートに隣接する 店舗等が少しあり	進入ルートに隣接する 集合住宅あり	進入ルートに隣接する 住宅、店舗等なし	進入ルートに隣接する 住宅、店舗あり	
	⑧ 災害時における緊急車両のアクセス	緊急輸送道路からの進入ルートが確保できる。	4	2	2	2	2	2	1	2	5	
		周辺に緊急輸送道路複数あり 周辺に緊急輸送道路があり複数の進入路が確保できるか。	周辺に緊急輸送道路複数あり (進入路1本)	周辺に緊急輸送道路1本あり (進入路1本)	周辺に緊急輸送道路1本あり (進入路1本)	周辺に緊急輸送道路1本あり (進入路1本)	周辺に緊急輸送道路1本あり (進入路1本)	周辺に緊急輸送道路1本あり (進入路1本)	周辺に緊急輸送道路1本あり (進入路確保不可)	周辺に緊急輸送道路1本あり (進入路1本)	周辺に緊急輸送道路複数あり (進入路複数)	
	⑨ ドクターヘリによるアクセス	ドクターヘリによる患者搬送に支障がない。	2	5	5	4	1	5	3	5	5	
		進入離脱経路に大きな建物がないか。 住宅街がなく騒音苦情の懸念がないか。	進入離脱経路に大きな建物、駅あり	運航委託会社から特段の意見なし	運航委託会社から特段の意見なし	進入離脱経路に住宅あり	進入離脱経路に大きな建物、駅、住宅街あり	運航委託会社から特段の意見なし	進入離脱経路に高速道路、住宅街あり	運航委託会社から特段の意見なし	運航委託会社から特段の意見なし	
小計 (I.アクセス性)			32	23	26	29	26	32	24	30	31	

新西和医療センター移転・再整備候補地にかかる比較検討結果

観点	比較項目	比較に係る着眼点	JR王寺駅南側	平群町 A地区	平群町 B地区	三郷町 A地区	三郷町 B地区	斑鳩町 JR法隆寺駅南側	河合町 A地区	河合町 B地区	河合町 C地区
II.敷地条件 30点 (5点×6)	⑩ 自然災害発生の可能性 (水害・土砂災害等)	自然災害発生の可能性が低い。	1	4	2	4	3	3	5	5	5
		洪水浸水想定区域に指定されていないか。 土砂災害警戒区域に指定されていないか。	想定浸水深3m～5m	想定浸水深1m～3m	想定浸水深1m～3m イエローゾーン	想定浸水深1m～3m	想定浸水深1m～3m (一部想定浸水深5m)	想定浸水深1m～3m (一部想定浸水深5m)	-	-	-
	⑪ 敷地形状	敷地形状による建物配置に制限がない。	4	2	5	1	2	5	2	3	2
		整形地(長方形)で建物配置に制限がないか。 傾斜しておらず、建物配置がしやすいか。	整形地(建物配置に制限あり)	不整形地	整形地(建物配置に制限なし)	不整形地 かつ傾斜あり	不整形地	整形地(建物配置に制限なし)	不整形地	整形地だが傾斜あり	不整形地
	⑫ 敷地広さ	患者駐車場も含め病院用地に十分な面積が確保できる。	1	5	5	2	3	5	4	5	5
		十分な面積(30,000㎡以上)があるか。 必要面積は確保できるが、有効面積が狭くないか。	狭い(約10,000㎡以下)	十分な面積(約30,000㎡以上)がある	十分な面積(約30,000㎡以上)がある	やや狭い(約20,000㎡～約10,000㎡)	必要面積は確保できるが、有効面積が狭い	十分な面積(約30,000㎡以上)がある	十分な面積(約30,000㎡以上)があるが、有効面積が狭い可能性がある	十分な面積(約30,000㎡以上)がある	十分な面積(約30,000㎡以上)がある
	⑬ 将来的な拡張性	将来的な増築用地や民間での職員駐車場が期待できる。	1	2	3	1	1	5	3	5	3
敷地内又は隣接地に、将来的に活用可能な土地があるか。		余剰面積が5,000㎡未満	余剰面積が5,000㎡以上10,000㎡未満ある	余剰面積が10,000㎡以上20,000㎡未満ある	余剰面積が5,000㎡未満	余剰面積が5,000㎡未満	余剰面積が30,000㎡以上ある	余剰面積が10,000㎡以上20,000㎡未満ある	余剰面積が30,000㎡以上ある	余剰面積が10,000㎡以上20,000㎡未満ある	
⑭ 周辺環境 (患者アメニティの充実)	隣接地に良好な療養環境を阻害する施設がない。	1	2	3	3	4	3	2	2	2	
	隣接地に大きな道路や線路がなく、騒音等の可能性がないか。	隣接地に大きな駅	国道沿い 線路の沿線	国道沿い	国道沿い	隣接地に住宅街あり	県道沿い	高速道路沿い 線路の沿線	県道沿い 線路の沿線	県道沿い 線路の沿線	
⑮ 周辺地域のまちづくり	周辺地域の活性化や周辺施設等との相乗効果が期待できる。	5	1	3	1	1	4	1	2	1	
	まちづくり計画があるか。 都市計画マスタープラン上の位置づけがあるか。	まちづくりの計画がある	既に周辺にまちが形成されている等、期待される相乗効果は限定的	都市計画マスタープラン上に位置づけがある	既に周辺にまちが形成されている等、期待される相乗効果は限定的	既に周辺にまちが形成されている等、期待される相乗効果は限定的	具体化していないがまちづくりの計画がある(基本構想等)	既に周辺にまちが形成されている等、期待される相乗効果は限定的	病院移転を契機に周辺地域のまちづくりへの相乗効果が期待できる	既に周辺にまちが形成されている等、期待される相乗効果は限定的	
小計(II.敷地条件)			13	16	21	12	14	25	17	22	18
III.整備スケジュール 25点 (5点×5)	⑯ 用地取得	早期の用地取得の見通しが立てられる。	4	1	3	2	5	3	2	1	2
		地権者数はどうか。 同意見込みがあるか。	地権者が10者以内で、かつ同意見込みあり	地権者が50者より多く、同意見込み不明	地権者が50者以内で、かつ同意見込みあり	地権者が50者以内で、同意見込み不明	地権者が1者で同意見込みあり	地権者が50者以内で、かつ同意見込みあり	地権者が50者以内で、同意見込み不明	地権者が50者より多く、同意見込み不明	地権者が50者以内で、同意見込み不明
	⑰ 既存施設の状況	既存施設が無い場合、補償交渉が不要。	1	4	4	1	5	4	3	3	2
		移転等の補償交渉が必要な既存施設があるか。	集合住宅、公共施設、鉄道施設あり	田畑	田畑	集合住宅、診療所等	民間開発地	田畑	店舗、山林、グラウンド	山林、田畑	住宅、田畑
	⑱ 関連工事	造成工事、道路整備が不要。	4	4	4	5	4	3	2	2	4
		盛土や切土などの造成工事が必要か。 道路整備が必要か。	造成工事不要 (道路整備必要)	造成工事(盛土)	造成工事(盛土)	造成工事不要	造成工事不要 (道路整備必要)	造成工事(盛土) (道路整備必要)	大規模造成工事 (盛土、切土)	大規模造成工事 (盛土、切土)	造成工事(盛土)
	⑲ 法規制への対応	スケジュールに影響する関係法令上の手続きがない。	4	3	1	4	4	2	3	2	1
高さ制限の緩和や市街化区域への編入は必要か。 また、農振農用地や埋蔵文化財包蔵地ではないか。		高さ制限の緩和必要	高さ制限の緩和必要 埋蔵文化財包蔵地	高さ制限の緩和必要 市街化調整区域 埋蔵文化財包蔵地 農振農用地	高さ制限の緩和必要	高さ制限の緩和必要	高さ制限の緩和必要 市街化調整区域 農振農用地	高さ制限の緩和必要 埋蔵文化財包蔵地	高さ制限の緩和必要 市街化調整区域 埋蔵文化財包蔵地	高さ制限の緩和必要 市街化調整区域 埋蔵文化財包蔵地 農振農用地	
⑳ 工事期間中のリスク	隣接地の施設に対し工事期間中の騒音・振動等の影響がない。	1	2	4	1	3	4	2	2	2	
	隣接地に住宅や鉄道、店舗等があり、工事に制約がかかる可能性があるか。	隣接地に店舗、病院、集合住宅、鉄道施設がある	隣接地に住宅、店舗、鉄道施設がある	隣接地に店舗がある	隣接地に住宅、店舗、病院、集合住宅がある	隣接地に住宅、集合住宅がある	隣接地に住宅がある	隣接地に住宅、集合住宅、鉄道施設がある	隣接地に住宅、集合住宅、鉄道施設がある	隣接地に住宅、店舗、鉄道施設がある	
小計(III.整備スケジュール)			14	14	16	13	21	16	12	10	11

新西和医療センター移転・再整備候補地にかかる比較検討結果

観点	比較項目	比較に係る着眼点	JR王寺駅南側	平群町 A地区	平群町 B地区	三郷町 A地区	三郷町 B地区	斑鳩町 JR法隆寺駅南側	河合町 A地区	河合町 B地区	河合町 C地区	
IV.整備費用 20点 (5点×4)	⑳ 用地取得費	1平方メートル当たりの近隣公示地価もしくは想定実勢価格	1	4	5	2	2	4	4	5	5	
			100,000円/㎡～	～50,000円/㎡	～25,000円/㎡	～100,000円/㎡	～100,000円/㎡	～50,000円/㎡	～50,000円/㎡	～25,000円/㎡	～25,000円/㎡	
	㉑ 移転補償費	想定される移転補償費	1	4	4	2	5	4	3	4	3	
			鉄道施設、駐車場、駐輪場、店舗	田畑（ビニールハウス、倉庫等）	田畑（ビニールハウス、倉庫）	兼合住宅、診療所、立体駐車場	-	田畑（ビニールハウス、倉庫等）	店舗、駐輪場、公衆トイレ、山林、グラウンド	山林	住宅	
	㉒ 建設工事費	標準工事費の他、駐車場確保等に必要な追加工事費	4	5	5	5	5	5	5	5	5	
			標準工事費 +地下駐車場	標準工事費	標準工事費	標準工事費	標準工事費	標準工事費	標準工事費	標準工事費	標準工事費	
	㉓ その他工事費	造成、アクセス道路等に必要な工事費	3	3	3	5	5	3	2	1	3	
			アクセス道路	造成（盛土）	造成（盛土）	-	-	造成（盛土）	造成（盛土、切土）	造成（盛土、切土）	造成（盛土）	
	小計（IV.整備費用）			9	16	17	14	17	16	14	15	16

比較項目⑯ 周辺地域のまちづくり

周辺地域の活性化や周辺施設等との相乗効果が期待できる。

5	まちづくりの計画がある
4	具体化していないがまちづくりの計画がある（基本構想等）
3	都市計画マスタープラン上に位置付けがある
2	病院移転を契機に周辺地域のまちづくりへの相乗効果が期待できる
1	既に周辺にまちが形成されている等、期待される相乗効果は限定的

III. 整備スケジュール

比較項目⑰ 用地取得

早期の用地取得の見通しが立てられる。

5	地権者が1者で同意見込み
4	地権者が10者以内で、かつ同意見込みあり
3	地権者が50者以内で、かつ同意見込みあり
2	地権者が50者以内で、同意見込み不明
1	地権者が50者より多く、同意見込み不明

比較項目⑱ 既存施設の状況

既存施設が無い場合、補償交渉が不要。

5	民間開発地で既存施設なし（更地）
4	田畑
3	山林
2	住宅等あり
1	集合住宅、診療所、公共施設、鉄道施設等あり

比較項目⑳ 関連工事

造成工事、道路整備が不要。

5	造成工事不要
4	造成工事（盛土）
3	造成工事（切土）
2	大規模造成工事（盛土・切土）
-1	道路整備が必要

比較項目㉑ 法規制への対応

スケジュールに影響する関係法令上の手続きがない。

5	高さ制限の緩和不要
4	高さ制限の緩和必要
3	市街化調整区域 -1
2	農振農用地 -1
1	埋蔵文化財包蔵地 -1

比較項目㉒ 工事期間中のリスク

隣接地の施設に対し工事期間中の騒音・振動等の影響がない。

5	隣接地に次の施設がある
4	・住宅 -1
3	・店舗 -1
2	・病院 -1
1	・集合住宅 -1 ・鉄道施設 -1

IV. 整備費用

比較項目㉓ 用地取得費

1平方メートル当たりの近隣公示地価もしくは想定実勢価格

5	~25,000円/m ²
4	~50,000円/m ²
3	~75,000円/m ²
2	~100,000円/m ²
1	100,000円/m ² ~

比較項目㉔ 移転補償費

想定される移転補償費

5	0（建物等なし）
4	~1億円（田畑、山林等）
3	~10億円（住宅、店舗等）
2	~30億円（集合住宅、診療所等）
1	30億円~（鉄道施設等）

比較項目㉕ 建設工事費

標準工事費の他、駐車場確保等に必要追加工事費

5	標準工事費
4	標準工事費+~50億円
3	標準工事費+~100億円
2	標準工事費+~150億円
1	標準工事費+150億円~

比較項目㉖ その他工事費

造成、アクセス道路等に必要工事費

5	~5億円
4	~10億円
3	~15億円
2	~20億円
1	20億円~

奈良県立病院機構のご意見

- ・浸水等のリスクを軽減し、診療活動が継続できる施設的な対応を図るとともに、災害発生時も病院へのアクセスの確保が可能なこと
- ・求められる病院機能の発揮に十分な建築面積を確保するとともに、災害時などに患者のトリアージができるスペースが、建物内・建物外に確保可能なこと
- ・病院周辺道路で渋滞が発生しないよう、敷地内に十分な来院者用駐車場の確保が可能なこと
- ・救急搬送に関連し、病院周辺の道路幅員が広いなどの救急車のアクセスを確保できるとともに、ドクターヘリ・防災ヘリの発着施設の設置が可能なこと

外部有識者のご意見

中山 茂樹 千葉大学 名誉教授（大学院工学研究院）

（専門分野） 建築計画、医療・福祉施設計画、医療・病院管理、医療経営

（所属学会） 日本建築学会、日本医療・病院管理学会、日本医療福祉建築協会、日本医療福祉設備協会、日本医療経営コンサルタント協会

（主な委員） 今後の国立大学附属病院施設整備に関する検討会、千葉市病院事業のあり方検討委員会、新しい船橋市立医療センターの在り方に関する検討委員会委員長

〔比較項目に対するご意見〕

- ・4つの観点で多方面から比較項目が設定されており、病院の適地を検討するうえで必要な事項はほぼ全て網羅されていると思う。適地検討の段階でここまで詳細に比較項目を設定している例は稀である。
- ・これからの病院整備には、健康づくり、福祉など、市町村や民間と連携した「まちづくり」の視点が重要。適地検討の段階ではこれを評価するのは難しいが、「将来的な拡張性」や「周辺地域のまちづくり」の項目で一定評価できると考える。
- ・奈良県の場合、スケジュールの検討に際して、文化財発掘の可能性の有無は重要な要素。「法規制への対応」の項目において、比較検討されるので良いと思う。

〔評価点数に対するご意見〕

- ・それぞれの比較項目で重要度は異なると思うので、全ての項目が5点満点ではなく、項目によって満点の点数を変えても良いと考える。しかし、重要度を客観的に設定することは極めて困難であり、評価者の主観が混ざる懸念もあり、考え出すとおそらく結論は出ない。多角的な観点で多くの項目を設定し、4つの観点それぞれで比較項目数を一律にしないことによって、重要度は表現できると思う。

〔そのほかのご意見〕

- ・病院整備にあたって、設計の段階になって建築分野の専門家の意見を聴くことはよくあることだが、基本構想や基本計画の策定の段階から建築分野の専門家も含めて意見交換をすることは、その後の効果的・効率的な整備を進めるうえで、有効な手法だと思う。

新西和医療センター移転・再整備候補地にかかる比較基準

I. アクセス性

比較項目①

鉄道路線の利便性

最寄り駅までの利便性が良い。

4	平日中上下14本/1h
3	平日中上下8本/1h
2	平日中上下6本/1h
1	平日中上下4本/1h
+1	バス発着本数多い(平日中10本/1h以上)

比較項目②

最寄り鉄道駅及び駅周辺の状況

最寄り駅の利便性が良い。

5	バリアフリー対応済、バスロータリー整備済(多方面への大型バスロータリー)
4	バリアフリー対応済、バスロータリー整備済
3	
2	バリアフリー未対応 -1 バスロータリー未整備 -1
1	

比較項目③

最寄り鉄道駅から病院へのアクセス

駅からの利便性が良い。

5	駅直結
4	駅前(徒歩5分未満)
3	駅前(徒歩5分未満)、勾配あり
2	駅から徒歩10分未満
1	駅から徒歩10分以上

比較項目④

西和7町からのアクセス

西和7町の人口重心、面積重心に近い。

4	人口重心3km範囲内かつ面積重心3km範囲内
3	人口重心3km範囲内、面積重心3km範囲外
2	人口重心3km範囲外、面積重心3km範囲内
1	人口重心3km範囲外かつ面積重心3km範囲外
+1	香芝市、広陵町を含めた9市町の人口重心の3km範囲内

比較項目⑤

周辺主要道路の状況

主要道路を経由して病院にスムーズにアクセスできる。

5	混雑度1.0未満
4	混雑度1.0~1.25
3	混雑度1.25~1.5
2	混雑度1.5~1.75
1	混雑度1.75以上

比較項目⑥

周辺道路から病院敷地へのアクセス

主要道路から病院敷地へアクセスできる。

5	国道・県道から2ルート進入路確保可能
4	国道・県道から1ルート進入路確保可能
3	町道から1ルート進入路確保可能
2	国道・県道・町道から1ルート進入路確保可能(拡張必要)
1	国道・県道・町道から1ルート進入路確保可能(道路整備必要)

比較項目⑦

緊急車両による周辺環境への影響

緊急車両の進入に支障がない。

5	近隣(250m以内)の緊急車両の進入ルート(想定)に隣接する住宅、店舗等なし
4	近隣(250m以内)の緊急車両の進入ルート(想定)に隣接する店舗等が少し(5軒未満)あり
3	近隣(250m以内)の緊急車両の進入ルート(想定)に隣接する住宅、店舗あり
2	近隣(250m以内)の緊急車両の進入ルート(想定)に隣接する店舗または集合住宅あり
1	近隣(250m以内)の緊急車両の進入ルート(想定)に隣接する住宅街または集合住宅、商業施設あり

比較項目⑧

災害時における緊急車両のアクセス

緊急輸送道路からの進入ルートが確保できる。

5	周辺(半径250m以内)に緊急輸送道路が複数あり、かつ複数の進入路が確保できる
4	周辺(半径250m以内)に緊急輸送道路が複数あり、かつ進入路を1本確保できる
3	周辺(半径250m以内)に緊急輸送道路が複数あるが、専用の進入路は確保できない
2	周辺(半径250m以内)に緊急輸送道路が1本あり、かつ進入路を1本確保できる
1	周辺(半径250m以内)に緊急輸送道路が1本あるが、進入路は確保できない

比較項目⑨

ドクターヘリによるアクセス

ドクターヘリによる患者搬送に支障がない。

5	運航委託会社から特段の意見なし
4	進入離脱経路(想定)に住宅あり(騒音苦情の可能性あり)
3	進入離脱経路(想定)に高速道路、住宅街あり
2	進入離脱経路(想定)に大きな建物、駅あり
1	進入離脱経路(想定)に大きな建物、駅、住宅街あり

II. 敷地条件

比較項目⑩

自然災害発生の可能性(水害・土砂災害等)

自然災害発生の可能性が低い。

5	想定される水害・土砂災害等がない
4	想定浸水深1m~3m
3	想定浸水深1m~3m(一部想定浸水深5m)
2	想定浸水深1m~3mかつ土砂災害(イエローゾーン)区域内
1	想定浸水深3m~5m

比較項目⑪

敷地形状

敷地形状による建物配置に制限がない。

5	整形地(建物配置に制限なし)
4	整形地(建物配置に制限あり)
3	整形地だが傾斜あり
2	不整形地
1	不整形地かつ傾斜あり

比較項目⑫

敷地広さ

患者駐車場も含め病院用地に十分な面積が確保できる。

5	十分な面積(約30,000㎡以上)がある
4	十分な面積(約30,000㎡以上)があるが、有効面積が狭い可能性がある
3	必要面積は確保できるが、有効面積が狭い
2	やや狭い(約20,000㎡~約10,000㎡)
1	狭い(約10,000㎡以下)

比較項目⑬

将来的な拡張性

将来的な増築用地や民間での職員駐車場が期待できる。

5	余剰面積(敷地内余剰地+隣接地の空地)が30,000㎡以上ある
4	余剰面積(敷地内余剰地+隣接地の空地)が20,000㎡以上30,000㎡未満ある
3	余剰面積(敷地内余剰地+隣接地の空地)が10,000㎡以上20,000㎡未満ある
2	余剰面積(敷地内余剰地+隣接地の空地)が5,000㎡以上10,000㎡未満ある
1	余剰面積(敷地内余剰地+隣接地の空地)が5,000㎡未満

比較項目⑭

周辺環境(患者アメニティの充実)

隣接地に良好な療養環境を阻害する施設がない。

5	隣接地に特に施設なし
4	隣接地に住宅街あり
3	大きな道路沿い、若しくは線路の沿線
2	大きな道路沿い、及び線路の沿線
1	隣接地に大きな駅あり